

## 平成 29 年 1 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 月の業種別景況の前月比 DI 値は、14 業種の中で 2 業種が好転、前月同等が 9 業種、悪化が 3 業種で、全体の景況も若干悪化している。

一般機器、輸送機器では引き続き堅調な生産がなされ、建設業、窯業・土石製品では仕事量が上向いている模様であるが、食料品、小売業、商店街等では悪天候の影響で売上が下がっており、未だ消費は低調である。

活発な事業活動から人員・人材不足で忙しいとの報告も多く、人員・人材不足が大きな問題となっている。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 1 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化：26.3% DI 値：▲21.3% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加： 16.3% 減少：27.5% DI 値：▲11.2% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 11.3% 悪化：27.5% DI 値：▲16.2% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 1 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲66.7	0.0	50.0	▲27.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
20.0	▲44.4	▲75.0	▲9.1	▲10.0	0.0	0.0	▲17.0
							

全体
▲21.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	年始の売上は前年並みであった。この冬は県北部の冬用タイヤの装着率が低く、積雪時には売上が減少する一因となっている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	引き続き雇用状況が厳しい。	パン・菓子製造業 下関市
	1月は対前年同月比▲5.9%。年始は好天に恵まれたが中旬以降は全般に天候の悪い日が多く、シケ等による鮮魚・活魚の品不足もあり、対前年実績を下回った。業種別では鮮魚・青果などの地元需要が昨年同等で、飲食・加工品が前年割れとなり、観光客の減少が続いていると分析している。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが鈍い。世界的な経済状況の先行き不安が大きいのか、読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	季節外れの長雨が続き農作物への影響が懸念されている。地球温暖化に伴う異常気象のせいか、東北地方や北海道で大雪になるなど企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、収入保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。トランプ政権が発足し、アメリカでは、様々な国境措置がとられているが、それに伴う日本への影響が懸念されている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の受注増により4月末までの受注量がある。1月キャンペーンに伴う備蓄生産で仕事量は許容範囲だが、5月以降はこのキャンペーンの結果次第で流動的である。	下着類製造業
	年明けから受注量が減少している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	店頭販売の商品の動きが悪い様で、受注も少ない。	外衣・シャツ製造業 下関市
	受注状況が回復してきたものの、資材等が遅れるため生産性が上がらないが、納期は確定しているため厳しい状況が続いている。しかしながら、追加の発注も有り、前年以上の生産予定で計画している。この動きが継続する事を期待したい。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	依然として新築物件の受注は少ない。	製材業・木製品製造業
印刷	組合員各社が集っての新年互礼会とセミナーを実施。	印刷 下関市
	1月の受注量・売上は前年同月比で、少し減少しているが「不変」の域である。例年2月・3月は繁忙	印刷 山口市

	期であるが、今年の受注は期待できない状況。	
窯業・ 土石製品	1月の出荷量は、アップしているが、一時的なものと考えている。 (平成28年1月) 骨材62%、路盤材64%、再生材 49% ↓ (平成29年1月) 骨材98%、路盤材99%、再生材113%	砕石製造業
	1月の出荷量は、前月比97%、前年同月比86%。平成28年4～12月までの出荷量は、前年同期88%。現時点のセメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じておらず、生コンの価格は安定している。	生コンクリート製造業
	今年に入り仕事に動きが出てきて良い方向である。このまま徐々にでも景気回復となれば良いが、昔のような活気を取り戻すには暫くかかりそうである。この時期は天候も気になる。	石工品製造業
	1月に入り萩市内は、ツアーや個人の観光客が先月にもましてまばらになり、年末年始の休日の並びも悪かった事もあり、ここ数年で1番悪い売上となった。特に週末の土日が悪天候となったため観光客はかなり少なく、前年同月比でかなりの落ち込んでいる状況。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの1月の売上は、前年同月比ではほぼ横ばいといった状況。関東方面の百貨店や陶器店からの受注は、1月に入って先月より若干持ち直したものの前年同月比ではかなりの落ち込みが見られる。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	金型関係は依然として順調である。海外工事関係は、ここにきて原因不明の足踏みの状態。組合全体では、景気回復傾向の印象である。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係の下請企業の受注状況は安定している。惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、36協定遵守の指導を続けている。食品・食肉加工業、溶接関係、惣菜業等は、引き続き人材の確保が困難で、外国人技能実習生の増員や新規受入の相談があった。特に惣菜関係の人手不足は深刻である。産廃処理業者からの問い合わせもあったが、職種が該当しないので断っている。国の制度改正が公布されたことにより、新制度による受入期間の延長、増員について協議を進めている。なお、介護の受入についても、介護施設、送り出し機関と協議を進めており、大きな需要になる可能性がある。	一般機械器具製造業 宇部市
	前月通りで推移。	

	<p>金型の生産設備操業度で、マシニング加工機の稼働率は上昇し、人員減もあったので納期遅れを発生させないように残業で対応している。昨年受注の残りの対応で1月は忙しい状況であった。昨年から受注も増加しており、現状4月末までの仕事量は確保できているが、価格、納期面で厳しい状況は続きそうである。成形製品の生産設備稼働率、受注状況ともに昨年同時期よりは増加傾向にある。民生部品（家電部品、電子部品）など製品毎の受注量変動により先が読みにくい状況ではあるが、2月も1月並みの稼働率を見込んでいる。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は順調な生産高を維持しており2017年度もこの水準で推移すると見られる。精密加工部門も心配された落ち込みも少なく、安定した作業高を保っている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>海苔の最盛期だが、質も良くなく量が少ないため単価が高くなり買えないので、売り上げは前年を下回る状況。今後の回復を期待している。</p>	乾物卸売業
	<p>ふく、鮮魚ともに年明けからのしけにより入荷が少ないが、ふくは後半から入荷があり安定傾向である。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>文具系の高額福袋の完売が昨年よりも早かったとのこと。購買力の回復に期待ができる。</p>	各種商品卸売業 山口市
	<p>運送業のETC、デジタルタコグラフの販売・取付案件を多く取り込めたことが、売上の向上につながった。</p>	各種商品卸売業 下関市
小売業	<p>テナントに入っている店舗の売上は初売り等の影響で良いところもあるが、路面店では月末の天候の影響でやや下がったところもあった。各メーカーからの美容部員の派遣数も減少し、売上に影響しているお店も多いと思われる。</p>	化粧品小売業
	<p>シール会発行の商品券・ポイントの精算が始まり、残念だとの消費者もおられるが時代の流れで仕方ないとの意見である。地区の中小企業者の動向は、由宇町中央フード跡地にウォンツが出店。オープンが2月15日との事で町内薬局やその他小売店にも影響があるが、消費者は歓迎している。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>ホテル ザ・グラマシーコンベンション部門の休業により、中心市街地にホールの不足が発生、対策方策の動きがある。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>悪天候もあり客数が減少しており、前年より少し減少している。寒さ対策の売上が少しだが良いと思われる。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>先月同様、客数、売上とも前年を下回る状況。</p>	各種商品小売業 長門市

商店街	主力の衣料品を中心に雑貨、家庭用品、身の回り品も軒並みマイナス。冬物バーゲンを年明け早々に開始したが低調である。この中でも、売上・収益ともに予算達成した店舗もあると聞いている。個店の活性化が商店街の活性化のポイントである。	山口市
	玩具店の売上は季節がら上向いている模様だが、青果店は12月に比べ売上が落ちている。各店ともチラシ等工夫し客の獲得をがんばっているが情勢は厳しい。	萩市
サービス業	新年を迎え、上旬は成人式や新年会などのイベント・行事があり、景気は悪くない感じだったが、中ごろから年末商戦の反動で、全体的に客足も遠のいている。しかし、例年と変わりはない。	美容業
	緩やかに景気回復が継続している内容のニュース報道が多く感じられるが、理容業界を取り巻く環境は厳しさが増すばかりで回復の兆しさえない状況が続いている。依然として厳しい状況。低料金店の増加等で消費者のニーズは変化している。	理容業
	日本自動車整備振興会連合会から28年度自動車分解整備事業実態調査結果の概要が発表された。その結果は、整備工場の整備売上高が3年連続で減少し、また、事業場数及び整備要員数も減少するなど、整備業界にとって厳しい時代となっていることが伺える。	自動車整備業
	人手不足が続いている。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上高は前年同月比で96%の前年割れとなった。平成28年12月末に旅館1つの廃業が影響していると考察している。	旅館業 山口市
	ビジネスホテルでは、1月の発注工事がずれ込んでいる模様で労働者の宿泊が少なく売上が減少しているが、その他の宿泊者についてはやや好調であった。観光ホテルでは、1グループの人数が多く単価も上がっている様子で、全体的に好調の模様である。	旅館業 下関市
	温泉施設利用者（入浴者数）の減少が続いている。従業員の高齢化により雇用環境が悪化している。従業員募集も継続しているが新規雇用が出来ず、サービスの低下を懸念している。	旅館業 長門市
	飲食業界は円安ドル高、円高ドル安どちらでもよいが、安倍総理の出方に注目している。1月の景況は、前月と同じく収益状況が相変わらずの悪化となっている。各種会合で直接各支部長から景況状況を聞く機会があったが景況判断は一様であった。飲食業界全体は悪化しているが、勝ち組、負け組に2分化し、勝ち組2割、負け組8割の状況で、また、業界の高	飲食業

	<p>齢化、廃業が顕著である。若い経営者の加入で組織の世代交代が進めば新しい時代に希望が持てるのだが、飲食業はニーズがある限り不減であることを実感している。</p>	
	<p>1月前半は新年会や、成人式の着物などのクリーニングが多く集まり好況でしたが、中頃からは閑散期に入ってきた。この頃から3月の中旬くらいまでは、一年でもっとも仕事量の減る時期で、冬時期は汗もかきにくく汚れがあまり表面化してこないのと、寒さで外出を控える傾向にあるため来店数にも影響がでる。しかし、この閑散期を抜けると一年で最も仕事量の多い衣替えシーズンがやってくるので、今のうちからしっかりと計画的に仕掛けや準備をしておきたい。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>12月の山口支部中電への工事申請は247件。太陽光発電への申請55件、オール電化申請85件、LED街路灯への切替・新設申請13件であった。</p>	電気工事業
	<p>全国レベルでの状況では、工事量は減っているが技能者不足による工程遅延を補うため、得意先の要請に応じて遠方の応援に行く同業者が増えている。直前3回の好決算に併せて技能者の年収を15%程度アップさせた同業者がでてきている。</p>	左官業
	<p>ガソリンが10127円となり少し下がっている。組合員は受注分の工事を年度末に向けて順調に熟しているが、人員不足はつづいている。建設業の人件費単価は例年2月に発表されるが少し上がる見込みで燃料費が少し下がると、収益も少し好転の見込み。</p>	管工事業
	<p>例年、2～3月は新築着工件数が落ち込み、県内の瓦工事業界全体として仕事の確保に力を入れている様である。現在は、繁忙期に先送りしていた人手のかかる仕事、手間のかかる仕事等をこなしている。</p>	屋根工事業
	<p>1月の内装工事業は、昨年からの工事が継続し2月までは好調と予測している。しかし大まかな工事は2月中にほぼ完成し、3月以降は少しずつスケジュールの空きが出てくると思われる。全般的には前年と変わりはないが、忙しいと思われていた1月も現場の変わり目に空きが出た。</p>	内装工事業
	<p>柳井地区の建設業者も年度末になり少しだけ工事量が増加し、作業員が少ないため少しだけ忙しい模様である。工事を受注しても作業員が少なく、下請け業者もおらず苦勞している模様。2代目、3代目の若い経営者は建設業界の未来に希望を持っておらず、品員の確保についても消極的である。まして新卒者の受入れでは企業として責任がもてず、即戦力を求めても該当者がいる訳もない。</p>	土木工事業 柳井市

	<p>昨年は0円であったが、今年はまだ高額ではないが受注ができ、売上高は増加。</p>	<p>土木工事業 周南市</p>
	<p>1月の受注高は、対前年同月比1,032%。年度の累計は対前年比93%。前年同月は災害復旧工事の発注が終息していたが、この1月は大型工事の発注が続いたため膨大な比率となっている。今年度上期の発注は非常に少なかったため、年度の累計では、93%にとどまっている。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
運輸業	<p>輸送関係は、稼働日数が少なく長距離輸送車両、特に特殊車両のドライバー不足が目立ち、売上は約▲1.8%となった。中短距離輸送は順調、輸出は横ばいであった。2020年東京オリンピック関係の鉄骨等の動きが目立ち始めている。燃料費は5円の値上げ。運賃は据え置きの中での燃料費の値上げは、中小輸送業者の経営を圧迫しており、資金繰りに支障をきたしている業者が出ている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>輸送受注量は前年同月比でプラスとなった。海外向け大型タイヤの生産が順調で、輸送も順調であったが、スポット的要素が強いため楽観できない。乗務員不足は解消されず、多少の上下もあるが燃料費は上昇基調である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>物流は、正月を過ぎ少し荷動きが落ち着いている感もあるがそれなりに動いている。倉庫は、春に向けた季節商品が増えてきている。人員不足の解消をすべく採用活動に力をいれているので、少し人員増となった。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>下関地区は気温の冷え込みはあったが、降雪も少なく順調な1ヶ月であった。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 下関市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+2.2%（平成28年12月1日～平成29年1月20日分）。12月1日～31日分は+0.5%、1月1日～20日分は+6.4%。昨年12月が大幅減少（▲7.5%）だった事もあるが、少し回復傾向にあるようにも思える。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域。12月分については、周南▲1.3%、下松+8.6%、光▲2.8%、防府市地区が+4.5%で、組合員の全域で+0.7%、地区外（員外）▲2.4%で合計+0.5%。鹿野診療所、下松防府の準大手の中小企業、防府や下松の大手病院の利用金額が増したが。周南の泉原病院、東洋鋼鉄や日立（笠戸）新日鉄の利用金額は減少。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。ブタン、プロパンのCPが上がり（前月430\$/トンが今月457.5\$/トン）、為替が円安になったので、前月より+6%となった。前年同月比で</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>

	<p>+1.5%となり今後の推移が心配される。タクシー乗務員は慢性的に不足している。高齢で退職する人員減少を、採用で補いきれないため、稼働できない車両がある状況。今月20日間が+6.4%となったが、曜日や天候の影響があり残り10日間がどうなるか心配なところ。</p>	
	<p>相変わらず取扱高が増えず、「不変」としているが若干の減少が積み重なり、平成28年の1年間（1～12月）の取扱高は平成27年と比べ4万トンの減少となり、過去3年同ペースで減少している。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>順調な経営が続いている。介護分野の外国人技能実習生の受入れに向け準備中である。</p>	<p>介護事業</p>